

三島市長選

# 現新3氏出馬 激戦へ

## 告示まで 争点は駅南口再開発

任期満了に伴う三島市長選(告示12月9日、投票16日)の告示まで1カ月を切った。これまでに現職豊岡武士氏(75)、新人の県議宮沢正美氏(69)、経営コンサルタント会社社長石井真人氏(39)の3人が出馬を表明。すでに後援会事務所を開設し、11月には総決起大会を開催、予定するなど活動を活性化、三つどもえの激戦の様相を示している。

# 12日に予定者説明会 21日、JC公開討論会

豊岡氏、宮沢氏が4月、石井氏が6月に出版馬表明した。3氏とも

9月に後援会事務所を開設。総決起大会を豊岡氏が7日に開き、宮沢氏が9日、石井氏が15日に行く。地元労組や共産党三島市委員会など8団体で構成する市民団体は独自候補の擁立を断念した。今選挙の大きな争点と予想されるのが三島駅南口の再開発事業。9月の後援会事務所開きでも現計画に対して

豊岡氏は「不転で取り組む」、新人2氏は再開発の必要性は認めながらも、現計画に対して宮沢氏は「立ち止まることも必要」、石井氏は「進めてはいけ

ない」とあいさつし、独自の姿勢を示している。

三島青年会議所は21日午後7時から、立候補予定者による公開討論会を三島市民文化会館で開く。3氏が政治理念やビジョンなどを語る。

立候補予定者説明会は12日午後2時から、市役所で行う。

市内の選挙人登録者数は9月3日現在、9万2269人(男4万4722人、女4万7547人)。



豊岡 武士氏



宮沢 正美氏



石井 真人氏